



第453号

2025年 3月

〒461-0004  
名古屋市東区葵2丁目6-35  
カトリック名古屋教区広報部  
電話 (052) 935-2223  
FAX (052) 935-2254  
news@nagoya.catholic.jp  
印刷所 株式会社 荒川印刷  
毎月第1日曜日発行



2025年 通常聖年  
希望の巡礼者となつて  
聖年をともに歩みましょう

教区ホームページ

福音のひびき

3月の説教者	
2日	年間第8主日 荒田 啓示 (神言修道会)
9日	四旬節第1主日 片岡 義博 (北陸ブロック石川地区)
16日	四旬節第2主日 志村 武 (日比野教会)
23日	四旬節第3主日 秋元 伸介 (名古屋教区)
30日	四旬節第4主日 窄口 松雄 (北陸ブロック石川地区)

### 名古屋教区 能登半島地震災害支援

#### 2025年1月報告書

2025年2月7日付けでカリタスのとサポートセンターのセンター長、片岡義博神父より、教区ニュース宛てに下記の投稿が送られてきたので紹介する。能登半島地震から1年が経つ1月の現地からの報告である。

#### 1. 被災地の現状

能登半島地震後の1年間で、七尾市以北の人口が7,116人減少した。石川県が2月3日に発表した1月1日時点の県内の人口と世帯の推計結果によると、七尾以北6市町の人口は、前年同日比5.9%減の11万2,534人だった。減少のペースは前年の2.1倍に拡大。地震以前からの人口流出に拍車がかかった現状が浮かんだ。

1年間の人口の減少数を市町別で見ると、輪島が2,192人で最も多く、七尾1,777人、珠洲1,198人、能登850人、志賀661人、穴水438人だった。珠洲は減少率が10.2%、輪島は同10.0%となっている。ほかの4市町は3〜6%台だった。

この1年間で6市町から転出した人は6,892人で、2024年元日までの1年間で(3,917人)を大きく上回った。一方で、転入者は330人減の2,498人だった。転入者数から転出者数を引いた転出超過は4,394人で、前年の4倍となった。

#### 2. カリタスのとサポートセンターの活動について

第4フェーズ(1月15日)より、ボランティア受け入れ枠を拡大し、水曜日(火曜日夜から宿泊)から日曜日までの活動を可能にした。1泊から最大5泊まで自由に活動していただけるように対応しており、1月(15-31日までの半月)のボランティア数は計30人(女性15人+男性15人、内未信徒の方が5人)。前月(12月)からのボランティア数はほぼ

ボランティアからほぼ



更地となった朝市の前で黙とう。新たな朝市へと力強く生まれ変わってまいりますように…!

輪島教会、七尾教会のそれぞれの信徒とともに捧げ、16時から17時15分までの祈りを行った。ついでに祈り・ついでに祈りでは、はじめのこの1年間で、参加者が書いて捧げた祈りやメッセージを焚き上げた。近隣の住民、カフェにいらしている方たちも多く訪れ、総勢40人ほどで亡くなられた方々の靈魂の



安息と、復興への希望を願い、ともに祈りをささげた。今回初めて能登に来た男性からは「未だに復興ができていないことにショックを受け、これまでの災害の見方が変わった。これからボランティアを考えてみたい」という感想が聞かれた。

平日に来てくださる方には、おらつちやの活動に参加していただいている。内容は公費解体前の家屋の片づけ、引越しの手伝い、ゴミの仕分けなどの作業がある。カリタス以外のボランティアの方たちとの出会いや、力を合わせて作業する楽しさなども魅力である。

重蔵神社での物資配布会は現在、支援団体から従来の水やレトルト食品などに加えて、生野菜の支援が多くあり、毎回40名を超える方々が来られている。のとセンは七尾ベースまでの帰宅時間があるため、配布会には出られないが、会場の準備を支援している。



能登半島地震被災1年特別企画 被災地巡礼 ミサとついでに祈り。のとセンでは被災1年の追悼行事を企画し、公募から15名が参加した。12月31日に被災地巡礼として内灘、輪島市内、和倉温泉を視察し、夕食はボランティア、スタッフとともに、七尾、羽咋の両ベースで能登のソウルフード「とり野菜鍋」を囲んで歓談した。

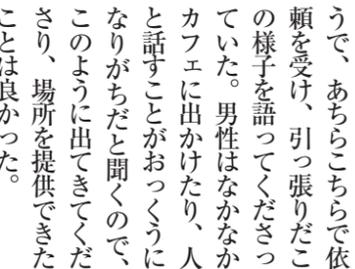


この日は能登では珍しい快晴で、まさにお出かけ日和。今回カフェにいらした方は8人だったが、男性2人と子ども2人の参加もあった。男性2人は、重機を扱えるよう、あちらこちらで依頼を受け、引っぱりだこの様子を語ってくださった。男性はなかなかカフェに出かけたり、人と話すことがおっくうになりがちだと聞くので、このように出てきてくださり、場所を提供できたことは良かった。



能登半島地震被災1年特別企画 被災地巡礼 ミサとついでに祈り。のとセンでは被災1年の追悼行事を企画し、公募から15名が参加した。12月31日に被災地巡礼として内灘、輪島市内、和倉温泉を視察し、夕食はボランティア、スタッフとともに、七尾、羽咋の両ベースで能登のソウルフード「とり野菜鍋」を囲んで歓談した。

この日は能登では珍しい快晴で、まさにお出かけ日和。今回カフェにいらした方は8人だったが、男性2人と子ども2人の参加もあった。男性2人は、重機を扱えるよう、あちらこちらで依頼を受け、引っぱりだこの様子を語ってくださった。男性はなかなかカフェに出かけたり、人と話すことがおっくうになりがちだと聞くので、このように出てきてくださり、場所を提供できたことは良かった。

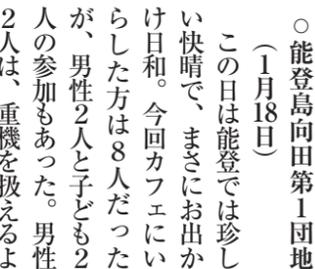


さった。子どもに餅つきの体験をさせたいという親子連れの参加も多く、子どもたちは大興奮、高齢者の方々は様子を見てほほえましく見守りながらの楽しいひと時をともに過ごすことができた。初めていらした方にはスタンダードを配って毎週カフェを行っていることも紹介した。

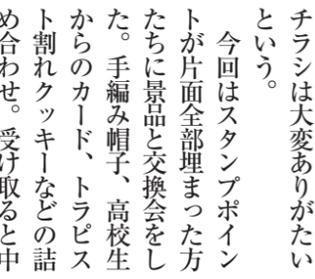


能登半島地震被災1年特別企画 被災地巡礼 ミサとついでに祈り。のとセンでは被災1年の追悼行事を企画し、公募から15名が参加した。12月31日に被災地巡礼として内灘、輪島市内、和倉温泉を視察し、夕食はボランティア、スタッフとともに、七尾、羽咋の両ベースで能登のソウルフード「とり野菜鍋」を囲んで歓談した。

能登半島地震被災1年特別企画 被災地巡礼 ミサとついでに祈り。のとセンでは被災1年の追悼行事を企画し、公募から15名が参加した。12月31日に被災地巡礼として内灘、輪島市内、和倉温泉を視察し、夕食はボランティア、スタッフとともに、七尾、羽咋の両ベースで能登のソウルフード「とり野菜鍋」を囲んで歓談した。



能登半島地震被災1年特別企画 被災地巡礼 ミサとついでに祈り。のとセンでは被災1年の追悼行事を企画し、公募から15名が参加した。12月31日に被災地巡礼として内灘、輪島市内、和倉温泉を視察し、夕食はボランティア、スタッフとともに、七尾、羽咋の両ベースで能登のソウルフード「とり野菜鍋」を囲んで歓談した。



輪島でのミサの前に、海の星幼稚園の前江田園長先生より、震災と豪雨災害を経験された思いと、いただいたたくさんさんの支援への感謝の言葉がありました。

この日は能登では珍しい快晴で、まさにお出かけ日和。今回カフェにいらした方は8人だったが、男性2人と子ども2人の参加もあった。男性2人は、重機を扱えるよう、あちらこちらで依頼を受け、引っぱりだこの様子を語ってくださった。男性はなかなかカフェに出かけたり、人と話すことがおっくうになりがちだと聞くので、このように出てきてくださり、場所を提供できたことは良かった。

能登半島地震被災1年特別企画 被災地巡礼 ミサとついでに祈り。のとセンでは被災1年の追悼行事を企画し、公募から15名が参加した。12月31日に被災地巡礼として内灘、輪島市内、和倉温泉を視察し、夕食はボランティア、スタッフとともに、七尾、羽咋の両ベースで能登のソウルフード「とり野菜鍋」を囲んで歓談した。

# 新成人と共に祝う「教区新年の集い」

## （聖年開幕と共に迎えた新年会）

新しい年になって初めての教区行事である「新年の集い」が1月12日（日）、新成人を迎えて布池司教座聖堂で行われた。インフルエンザが猛威を振るっていた時期

として三連休の真ん中であったためか、大聖堂はかなりの空席が目立ち、残念ながら少し寂しい新年の集いであったが、この状況ではやむを得なかったであろう。新成人の参加は4人であった。新成人たちは、朗読、奉納などでミサの奉仕をした。

松浦悟郎司教は、聖年のテーマである「希望」とは何か？を考えてみたい、と説教で語った。「私たちは、目標が達成されるようにとか、健康であるようにとか、具体的な希望はたくさん持っているが、それが叶わないと簡単に絶望に変わってしまう。しかし信仰からくる希望は絶望に陥らない。そこには絶対に一緒に歩んで下さる主がおられるから」、そして「能登の被災地の人達は、各地からやってくるボランティアの人々と出会うことで、自分たちは忘れられていない、想ってくれている人々がいる、と希望をつなぐ。またアウシュビッツの強制収容所での苛酷な体験をした精神科医のフランクは、不幸を逆に捉え、そこに私に命を見つけていることで希望

へとつなげた。依存症を患った人は、同じ依存症の人を助けることが出来る」と、具体例を持って話を続けた。ミサの終りに新成人たちは、松浦司教から祝いの記念品を受け取り、1人1人これからの抱負を皆の前で語った。この後、場所を地下ホールに移し、コロナ禍でしばらく出来なかった茶話会が久しぶりに行われた。用意された軽食をつまみながら会話

が弾み、新成人へゲーム形式の自己紹介、「漕げよマイケル」の替え歌を全員で楽しく歌ったり、参加者が少ないながらも新年会らしい賑わいを見せた。

能登地震被害者支援のミニバザーが行われ、マフラ、足カバー、袋物などの温かい手作り製品が人気を呼んでいた。

この日はたくさん仲間や支援者、地域の人々が集まり、名古屋DARCのこれまでの歩みと一緒に振り返るあたたかい一日となった。今年のテーマは「next change」。これまでの感



# 名古屋DARC

## 35周年感謝祭を終えて

2024年11月30日、名古屋DARC（ダルク）は35周年を迎え、感謝祭を行った。

この日はたくさん仲間や支援者、地域の人々が集まり、名古屋DARCのこれまでの歩みと一緒に振り返るあたたかい一日となった。今年のテーマは「next change」。これまでの感

謝を胸に、これからの新しい一歩を踏み出そうという気持ちを込めた。会場にはかつて名古屋DARCで生活していた仲間、今も一緒に回復に取り組んでいる仲間たちが顔を揃えた。地域の支援者や医療、福祉関係者の姿もあり、改めて多くの人々に支えられていることを実感する時間

# 福者ユスト高山右近殉教者列聖を祈って、金沢教会で記念ミサ

福者ユスト高山右近殉教者の記念ミサが2月1日、カトリック金沢教会で、北陸ブロックの信徒、シスターら約50人が参列して行われた。ミサでは、右近の遺徳を偲び、次なる聖人の列に加えられる日の到来を願った。

ミサは名古屋教区の松浦悟郎司教と北陸の司祭4人の共同司式で進め

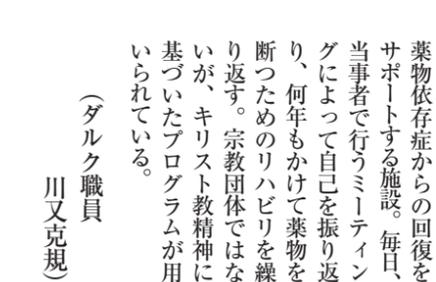


だった。

イベントでは、名古屋DARCの35周年をまとめたスライドや映像が上映された。当時の仲間たちの笑顔や涙、ぶつかり合いながらも支え合って生き直してきた姿が映し出され、みんな静かに見入っていた。回復の道のりは決して簡単ではない。でも、「一人じゃない」と感じられるからこ

そ、ここまで歩んでこられたのだと思う。ステージでは社会復帰を果たした仲間が、自分の体験を語ってくれた。「仲間がいたから、ここまで来られた」「ダルクは生き直すすきつけをくれた場所」。その言葉には力強さがあり、今まさに苦しんでいる人や一緒に回復を目指している仲間たちに、勇気を与えてくれる内容だった。

さらに、会場ではオリジナルTシャツやコーヒーマグも販売された。仲間たちが畑で育てた野菜を使った手作り料理も振る舞われ、これがとても好評だった。料理や商



品には、日々の生活で仲間たちが積み重ねてきた努力や想いが詰まっています、会場全体が温かい雰囲気になりました。

35年という時間は決して短くない。でもこれはまだ通過点だ。テーマである「next change」に込めたのは、これからの変化と成長だ。仲間と一緒に、支援してくれる人たちと一緒に、これから一歩ずつ前に進んでいく。そんな未来への希望を感じた1日だった。

※DARC（ダルク）薬物依存症からの回復をサポートする施設。毎日、当事者で行うミーティングによって自己を振り返り、何年もかけて薬物を断つためのリハビリを繰り返す。宗教団体ではないが、キリスト教精神に基づいたプログラムが用いられている。

（ダルク職員 川又克規）

# （能登半島地震災害支援 輪島市内の山間の地域は、地震のため道路の一部が崩落するなどして通行が難しく、また独居老人が多く、買い物に出かける手段がないことから、輪島市社会福祉協議会よりの依頼で、空熊町、糸作の2か所6世帯に食料と飲料水を届ける支援をしている。輪島市中心部には雪がない日であっても、空熊町の方は一面雪景色である。週に1度のカリタスの訪問は、一人で暮らす方たちにも安心感や心の支えとなっている。

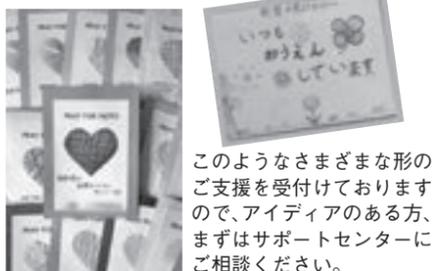
# 2025年1月報告書 続き



テレビ番組のDVD上映 右近の足跡を紹介 聖堂ではミサに先立ち、地元のテレビ金沢が昨春秋に放送した、高山右近の足跡を紹介する広報番組「いしかわ大百科」のDVDが上映された。右近紹介のテレビ番組では、他にもBS11が昨年11月に「偉人・敗北からの教訓」を放送した。金沢教会でもロケが行われ、九里彰神父のインタビュー、聖堂内外の映像が流れた。

# 【祈りの支援】

シスターズリレーやボランティアに参加できないたくさんの方々のサポートから全国の修道院から祈りをもってわたしたちの活動を支援してください。報告をいただいている。わたしたちが日々、事故から守られ、健康に活動ができて



形のままのアイディアを、ぜひご相談ください。

# 「道草」上映会

カトリック名古屋教区正義と平和委員会主催による映画「道草」の上映会が、名古屋教区センターで1月18日(土)の午後、19名の参加者を迎えて行われた。上映会には月集(司祭の集まり)先立ち、1月16日(木)には月集(司祭の集まり)において同映画が上映され、23名の司祭たちが観賞した。正義と平和委員会では社会の課題について、信仰を通して様々な角度から学習しているが、今回は「重度障がい者とその介護者」に焦点を当て皆様と現実を共有したいと思い、この企画を実施した。

参加者の感想としては以下のとおりである。(一部抜粋)

◎どんなに重い障がいがあっても「生まれてきて良かった」という社会が来るように。

◎重度の知的、自閉症などの障がい者とかかわることができない自分にとって驚きの映画だった。街中で叫んだりする方に対する見方が変わる。

◎障がい者とかかわり続ける人たちに感動した。とても明確に人との付き合い方の原点を思った。

◎この映画はどちらの立場で見るとかによって、見方が変わると思っていた。



「正義と平和委員会」上田千津子

## 2024年度 第3回 宣教司牧評議会

2月2日(日)14時から16時までカトリック布池教会地下ホールにおいて2024年度第3回宣教司牧評議会が出席者31名、欠席者5名で行われた。概要は以下のとおりである。

1. 新成人と共に祝う「教区新年の集い」について

1月12日(日)午後2時より布池教会(カテドラル)においての司教ミサの中で4名の新成人の祝福が行われた。参加者は例年より少なめの100名城東ブロック。3月11日のブロック会議で準備について話し合う予定。

2. 2月1日(土)金沢での殉教者祭(福者ユスト高山右近記念祭)

10時半より、福者高山右近の足跡をたどるビデオ鑑賞の後、松浦悟郎司教司式のミサが行われた。

3. ダイアモンド・金・銀祝のミサ等の進捗状況

対象者は司祭2名、修道女4名、茶話会担当は城東ブロック。3月11日のブロック会議で準備について話し合う予定。

## 春日井教会新聖堂献堂式

先日、献堂式を迎えたカトリック春日井教会の主任司祭北向修一神父より、その報告を受けたので、以下に紹介する。

### 信仰の証と希望の象徴

春日井教会 北向 修一

2025年2月2日、春日井教会の新聖堂献堂式が執り行われました。

感謝いたします。

新しい聖堂の誕生は、私たちが一人一人の信仰の証であり、神の愛の具現化そのものです。この聖堂は、単なる建物ではありません。私たちの信仰の源であり、家族のような温かい共同体を育む場所なのです。

松浦司教がミサの説教でおっしゃったように、この聖堂で祈るすべて

1. 家族のような温かい共同体を育む場所

2. 未来を見据えた持続可能な設計

3. すべての人に開かれた、バリアフリーの空間

4. 神との出会いと祈りが生じる場所

この聖堂で祈るすべて

に、教会の本質は建物ではなく、キリストを信じる人々の共同体にあります。私たち一人一人が、キリストの体の一部として重要な役割を担っているのです。

新聖堂は、以下の特徴を持っています。

希望を持って日々の生活に戻れる教会となりますように。新しい聖堂での出発を喜び、希望を持って前進しましょう。

この恵みに感謝し、私たち一人一人が、見えないうキリストの存在を日常生活の中で見える形で示願っています。

告知、お知らせ

・カ障連は2026年全国大会が名古屋で開催されるので教区の「障がい者の集い」は行わない。

・南海トラフ地震に対する対応・対策の教区で作成したマニュアルとカリタスジャパン作成のもの各小教区にあるが、各小教区の所在地自治体では独自のマニュアルを調べておいてほしい。

今後、南海トラフ地震への対応の取り組みを考え、対応チームの立ち上げのために協力を要請、信徒の中でその分野に詳しい人材があれば、是非とも教区に紹介してほしい。





**3月**  
 2日(日) 城東B会議  
 3日(月) 北陸ブロック司祭会議\*  
 4日(火) カリタスのとサポートセン  
 ター運営委員会\*  
 5日(水) 能登被災地視察\*  
 7日(金) 世界祈禱日(布池教会)\*  
 8日(土) 殉教者委定例会/典礼委員  
 会コアミーティング/信徒  
 協役員会  
 9日(日) 三河B会議・司祭会議  
 10日(月) 城北B司祭会議

**3月**  
 6日(木) 常任司教委員会 会議  
 17日(木) 顧問会\*  
 20日(日) 愛岐B会議  
 26日(土) レジオ・マリエ「名古屋ク  
 リア」  
 27日(日) 岐阜教会聖信式\*  
 29日(火) 祝殉教者祭(金沢卯辰山)\*  
 /典礼委「教区典礼研修会」  
 /殉教者委「浦上キリシタ  
 ン流配者のためのミサ」

**建設費の返済に協力を**

673件 36,013,214円  
 目標額 40,000,000円 (1月末現在)

達成率 約90.0%

郵便振替 00810-5-50605  
 加入者名 カトリック名古屋教区  
 通信欄に「福信館建設」と必ず  
 ご記入ください。

(祭) 祭日(祝) 祝日(記) 記念日  
**3月の教会暦**  
 2日(日) 年間第8主日  
 5日(水) 灰の水曜日(大斎・小斎)  
 四旬節愛の献金(四旬節中)  
 9日(日) 四旬節第1主日  
 16日(日) 四旬節第2主日  
 17日(月) 日本の信徒発見の聖母(祝)  
 19日(水) 聖ヨセフ(祭)  
 21日(金) 性虐待被害者のための祈りと償いの日  
 23日(日) 四旬節第3主日  
 25日(火) 神のお告げ(祭)  
 30日(日) 四旬節第4主日  
**4月の主な教会暦(主日・祭日など)**  
 6日(日) 四旬節第5主日  
 13日(日) 受難の主日(枝の主日)  
 17日(木) 聖木曜日(主の晩餐)  
 18日(金) 聖金曜日・主の受難(大斎・小斎) 聖地のための献金  
 19日(土) 聖土曜日  
 20日(日) 復活の主日(祭)  
 27日(日) 復活節第2主日(神のこっ  
 くしみの主日)

11日(火) 難民移住移動者委員会/樹  
 の会  
 13日(木) 月集\*  
 15日(土) 神言会助祭叙階式/レジ  
 オ・マリエ「アチエス」  
 16日(日) 教区祭壇奉仕者選任式(東  
 山教会)\* /城北B会議  
 城南B会議  
 18日(火) カトリック看護協会例会  
 20日(木) 祝教区終身助祭叙階式(布池  
 教会)\*  
 21日(金) 名古屋教区司教座聖堂献堂  
 記念日/祈りと償いの日  
 (布池教会)\*  
 22日(土) カ障連黙想会(南山教会)\*  
 27日(木) 顧問会\*  
 29日(土) 教区法人評議員会\*  
 8日(火) 難民移住移動者委員会/樹  
 の会  
 12日(土) 典礼委員会コアミーティ  
 ング/殉教者委定例会/信徒  
 協役員会  
 15日(火) カトリック看護協会例会  
 16日(水) 聖香油ミサ\* ダイヤモン  
 ド・金・銀祝の祝い\*  
 17日(木) 顧問会\*  
 20日(日) 愛岐B会議  
 26日(土) レジオ・マリエ「名古屋ク  
 リア」  
 27日(日) 岐阜教会聖信式\*  
 29日(火) 祝殉教者祭(金沢卯辰山)\*  
 /典礼委「教区典礼研修会」  
 /殉教者委「浦上キリシタ  
 ン流配者のためのミサ」

**告知板**

3日(木) 常任司教委員会 会議  
 26日(土) 全国デスク会議(福岡)

**4月**  
 ◇3月の炊き出し  
 木6日布池、13日ひまわり・南山・  
 樹の会、20日聖霊・南山・樹の会、  
 27日城北橋  
 金7日喜望の会、14日恵方町、21  
 日布池、28日長浦

**性虐待被害者のために  
 捧げるミサ**

四旬節第2金曜日は「性虐待被害者のた  
 めの祈りと償いの日」に当たり、ミサが奉  
 げられます。参加して共に祈りましょう。

日 時 3月21日(金) 午前7時  
 場 所 カトリック布池教会聖堂  
 司 式 松浦悟郎司教

〈カルメル修道会日比野修道院、講座、黙想企画〉

**【旧約聖書から学ぶキリスト教霊性】**  
 ーキリストの十字架の恵みをより味わうためにー

日 時 2025年3月15日(土) 14:30~16:30  
 テーマ 第2イザヤの主の僕の4つの歌  
 持ち物 必ず聖書(旧約+新約)をご持参ください。  
 場 所 カルメル会日比野修道院(日比野教会)  
 参加費無料  
 どなたでもご自由にご参加ください。  
 担 当 志村武神父(カルメル修道会)  
 問合せ 日比野修道院(052-671-1003)  
 以降の予定 4月26日(土) 5月17日(土)  
 6月21日(土)

**【静修の集い】**

日 時 2025年3月8日(土) 10:00~15:00  
 講話担当 今泉健神父(カルメル修道会)  
 テーマ 四旬節を十字架の聖ヨハネに做って  
 歩む  
 スケジュール 講話① ご聖体顕示 昼食  
 講話② ミサ 茶話会  
 参加費 無料(自由献金をお願い致します)。  
 どなたでもご自由にご参加ください。  
 持ち物 昼食(各自持参)  
 問合せ 日比野修道院(052-671-1003)

**第37回 名古屋教区障害者連絡会 四旬節黙想会のご案内**  
 ~障害を持つ人々と共に~

テーマ 希望の福音(よろこびのメッセージ)  
 日 時 3月22日(土) 9:30~16:00  
 会 場 南山教会マリア館2階ホール  
 名古屋市昭和区南山町2  
 電話 052-831-9131  
 (要約筆記・手話通訳あり)  
 黙想指導 松浦悟郎司教(名古屋教区長)

参加費 無料(昼食として弁当の用意あり)。  
 希望者は申し込みを。500円)  
 問合せ カリタス福祉委員会、教区障害者連絡会  
 電話 052-852-1426  
 主 催 名古屋教区障害者連絡会、  
 カリタス福祉委員会  
 \*詳細は会報第83号をご覧ください。

**第20回生命尊重講演会**  
 授かる「いのち」を未来につなげよう!

テーマ いらない「いのち」はない! ~私は見捨てたくない~

講演者 蓮田 健(はずだ たけし) 先生  
 1995年九州大学医学部卒業。日本産婦人科学会認定医。  
 熊本の慈恵病院理事長兼院長を務める傍ら、日本で唯一の「こうのとりのゆりかご」を運営。  
 2019年日本で初めて「内密出産」を導入。

日 時 4月6日(日) 午後2:00~4:00  
 場 所 カトリック南山教会 マリア館 2Fホール(名古屋市昭和区南山町1)  
 アクセス 地下鉄鶴舞線いりなか駅下車 南へ徒歩5分  
 入場券 1,000円(学生500円) 入場券を希望される方は下記の問合せ先へご連絡ください。(当日入場券有り)  
 主 催 愛知小さな生命を応援する会  
 問合せ先 TEL 052-443-1559(山田) 052-882-8729(杉原)

**名古屋教区終身助祭叙階式のお知らせ**

下記の日程でヨハネ・マリア・ヴィアンネ 秋元伸介氏(カトリック  
 南山教会)の名古屋教区終身助祭の叙階式が行なわれます。

日 時 2025年3月20日(祝・木) 午後2時より  
 場 所 カトリック名古屋教区司教座聖堂(布池教会)  
 司 式 カトリック名古屋教区長 司教 ミカエル 松浦悟郎

**講演会「聖書におけるお大切な心とは？」**

日 時 3月22日(土) 13:30~  
 場 所 ウィンクあいち 12階1206号  
 講 師 本田哲郎神父  
 フランシスコ会司祭。1991年より大阪釜ヶ崎にて、日雇い労働者に  
 学びつつ聖書を読み直し、また「釜ヶ崎反失業連絡会」などの活動  
 に取り組んでいる。  
 新共同訳聖書編集委員。  
 定 員 42名(定員になり次第締切)  
 申込先 090-1726-5627 相澤あつ子・大崎容子(南山教会所属)

**正義と平和委員会 学習会「中東問題」**

2023年10月からパレスチナでは戦争が起きています。その惨状はテレビで  
 報道されている通り、見るに堪ええません。こんなことがどうして起きている  
 のでしょうか。この難しい問題を根本から考えていきましょう。近代の歴史  
 から始め、第三次中東戦争やオスロ合意を踏まえ、現今の問題に迫りたい  
 と思います。

日 時 3月11日(火) 10:30~12:00  
 会 場 福信館2階(布池教会東)  
 アクセス 地下鉄東山線新栄駅から徒歩8分  
 地下鉄通線車道駅から徒歩8分  
 JR中央線千種駅から徒歩9分  
 講 師 浅野幸治(正平委々員 豊田工業大学特任准教授)  
 主 催 カトリック名古屋教区正義と平和委員会  
 連絡先 浅野幸治 メールアドレス asano@toyota-ti.ac.jp  
 電話 090-8860-3627